



公募校の取組紹介と令和 8 年度に向けた公募校について

公募型人事異動を活用し、特色ある学校づくりに取り組んで 2 年目を迎えている水戸市立第二中学校が、取組内容や成果と課題についてまとめてくださいましたので紹介します。



①水戸市立第二中学校の特徴

本校は、水戸城や彰考館の跡地に立地しており、復元された水戸城大手門をくぐって登校するなど、生徒は日々郷土の歴史を肌で感じられる景観の中で生活を送っています。そうした環境の中で、「水戸を語り、水戸を誇れる人材」の育成を推進するために、生徒と地域と教職員をつなぐ役割を担う職員を公募により求めました。

②公募により配置された教員が担っている役割

社会科の授業や「水戸まごころタイム」（総合的な学習の時間）の主任などを担っており、本校の特色を踏まえた以下のような活動に取り組んでいます。

〈昨年度からの取組〉

- 本校の有志生徒による「魁二の丸隊」の活動
 - ・ 梅まつりの時期に合わせた第二中学区周辺の観光ボランティアガイド
 - ・ 歴史文化財課のゲストティーチャーによる水戸城の史跡学習会
- 水戸市「平和の語り部」派遣事業による平和学習 水戸の空襲体験について
- 「水戸まごころタイム」の工夫
 - ・ 1 年 先人を紹介する「水戸推しカルタ」づくり、第二中学区周辺の史跡ウォークラリー
水戸三の丸コミュニティ連合会による水戸黄門さん出前講座
 - ・ 2 年 「水戸城へようこそ」案内（パンフレット）地図作り
伝統工芸「水府提灯」を制作する鈴木茂兵衛商店による職業講話
 - ・ 3 年 水戸市の未来を考える探究的な学習「水戸市への提言」
水戸市政策企画課による「水戸市総合計画」の説明や中学生による政策提言のプレゼンテーション



【3 年生と政策企画課
の意見交換会】



【魁二の丸隊と歴史文化財課
による角櫓の見学・学習会】

このような活動を推進するために、水戸市生涯学習課、文化交流課、歴史文化財課、政策企画課、水戸観光コンベンション協会、三の丸自治コミュニティ連合会など、行政を始めとする様々な機関と連絡調整を行っています。学校内の活動だけでなく、「地域の人材」の活用、「地域との交流」、「行政とのかかわり」を深めていく中で、郷土の魅力を語ることでできる人材の育成を推進しています。

③成果と課題

ボランティア活動や「水戸まごころタイム」の工夫を通して、第二中学区周辺のエデュケーションリソースを十分に活用しながら系統的に実践することができました。また、行政など外部の人材や機関を積極的に活用することで、より奥行きや広がりをもった学習へと発展させることができました。実物を見たり、ゲストティーチャーの生の声を聴いたりすることが、体験的で深い学びへとつながっていくのではないかと思います。さらに、「郷土の未来」を考える学習に結び付けることで、従来の郷土教育にありがちな「歴史や過去」を受動的に学ぶ学習から脱却し、主体的に学ぶ意欲を高めたり、地域の担い手としての意識を醸成したりできたのではないかと感じています。

外部機関からの学びが増えた一方で、学んだことを外部へ向けて発信していく活動の充実が課題であるように感じます。郷土のよさを発信していく活動や、地域と関わってよかったと思える体験を充実させられるように今後も工夫を続けていきます。



今年度は県内 12 校が公募校となり、教員の出願を受け付けています。管内では、水戸市立浜田小学校【コミュニティ・スクールの推進】、水戸市立飯富小学校【多様な学びを支える教育体制の充実】、茨城大学教育学部附属小学校、茨城大学教育学部附属中学校、茨城大学教育学部附属特別支援学校【いずれも教育実践研究の推進】の 5 校となります。

詳細は、教育情報ネットワークにて、10 月 31 日（金）から 11 月 28 日（金）までプレゼンの視聴ができますのでご覧ください。出願期間は、11 月 18 日（火）から 11 月 28 日（金）までとなります。